

2020年5月29日

長野県カーリング協会 会員各位

長野県カーリング協会

会長 黒澤 一也

広報・普及事業部長 土屋 長雄

競技運営事業部長 持田 靖夫

強化・育成事業部長 松村 保

新型コロナウイルス感染症への対応について（通知）

平素より本協会の事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。さて5月14日に39県において緊急事態宣言が解除され、5月21日に近畿3府県、25日には全国で緊急事態宣言が解除されました。カーリング競技も日常活動が一日も早く戻ってくれることを願ってやみません。

そこで、今後、競技団体からガイドラインの提示・共有がされると思いますが、施設を利用するにあたり、自らがスポーツに携わる者として、まずは、長野県競技者の統一的な対応がなされるようお願いしたいとお思います。

2か月余に及ぶ練習休止と体力低下によるけがの発生が懸念されることから、競技者の皆様には段階的練習計画でお願いします。各段階の感染症や社会状況の基準に関しては、各都道府県行政の判断や学校の方針によるところが大きいので、その判断に基づいて施設利用されるようにお願いします。また現時点で段階3と判断される長野県ではありますが、まず段階1から開始し一定期間を経て徐々に段階を上げるように考えています。

スポーツ競技によって感染症が発生し行政の対応が変化すれば、当然段階も戻るようになります。競技者のすべての方が行うべき感染症予防措置を示しますので、徹底いただきたいとお思います。

ここでは開始から3段階までの要約と感染予防措置を示します。なお対外試合（地域、全国）の開催や観客制限などに関しては、段階3を終えた後の段階に相当しますので、改めて行政指針に沿った対応をして参りたいとお思います。それまでは試合・大会の中止、延期の対応となることをご承知おきください。

記

1. 段階1（練習の開始段階）○ 感染症と社会状況：緊急事態宣言は解除。外出規制の緩和や少人数集会の開催が一部認められ、学校や部活動の一部再開。3密回避は厳守、県をまたぐ移動は自粛状態。

○ 練習人数制限（10名/1シート、ほどを目安）

- 練習内容：練習者がお互い接しない練習のみ
例えば、一方向からの連続投球は避け、両サイドより交互にストーンを投球する、スウィーピングはしない、同じハックから複数の投球者がいる場合は投球順序が来るまでと投球後はコーターシーライン又はバックボード後ろの通路を待機場所とするなど
- 練習時間；2 時間程度
- マスク着用義務あり
- 施設共用部（シャワーなど）の使用禁止

2. 段階2（練習者がお互いコミュニケーションする練習の開始段階） ○ 感染症と社会状況：学校や部活動の再開。3 密のうちマスク着用下での密接許可。

- 練習人数制限（16名/1シート、ほどを目安）
- 練習内容：練習成果の確認等のコミュニケーションをおり交ぜた練習
例えば、一方向からの投球、ブラシで指示を出す、投球内容を検証・伝達、スウィーピング、投球フォーム映像チェックなど
（スウィーピング時の大声でのウエイトコールは禁）、試合は行わない
- 練習時間；2 時間程度
- マスク着用義務あり

3. 段階3（試合形式も取り入れた練習段階） ○ 感染症と社会状況：地域の新規患者が一定期間（たとえば4週間以上）なし。3 密と移動制限の解除。

- 練習人数制限なし（ただし密集となる状態は可能な限り避ける）
- 練習内容：ウエイトコール、練習試合など
リンク内での練習前後のミーティングは制限する
対外試合は行わない。
- 練習時間：2 時間程度
- マスク着用義務なし

なお練習者および管理者（指導者など）は、以下の感染予防措置が取られない場合には活動を行うことは許されません。

- 練習日には全員が健康記録表を管理者に提出する（健康記録表には氏名、連絡先、当日の体温、当日の症状の有無などが記載）。練習参加可否とクラスター発生時の追跡に必要。 □ 管理者はすべての健康記録表をチェックし、発熱者や有症状者は練習不参加とする。
- 使用前後での施設の共用部分（ストーンハンドル、更衣室ハンガーなど）の拭き掃除、消毒：消毒はアルコール類 か 0.02-0.1%次亜塩素酸ナトリウムによる拭きがよい。
- 共用設備のうちシャワー室は使用しない。
- リンクを含む施設は換気を十分に行う。

- 練習前後には全身を自宅にてシャワーで洗う。
- トレーニングウェア・シャツ、タオルなど個人が使用する物品は毎日自宅で洗濯する。
- 手洗いを頻繁に行う。：練習前後・休憩前後で擦式アルコール製剤で両手を定期的につきみまで洗浄するか、石鹼と水で洗う（20 秒間）。
- マスク着用は段階 1、2 では必須とする。

以上